

## 第 2 回 地域エネルギー供給構想検討分科会 今後の分科会活動

2007 年 11 月 8 日

**JHIF** 日本水素エネルギー産業会議  
Japan Hydrogen Industrial Forum

地域エネルギー供給構想検討分科会 座長 堀雅夫

### 本分科会の目的・スコープ

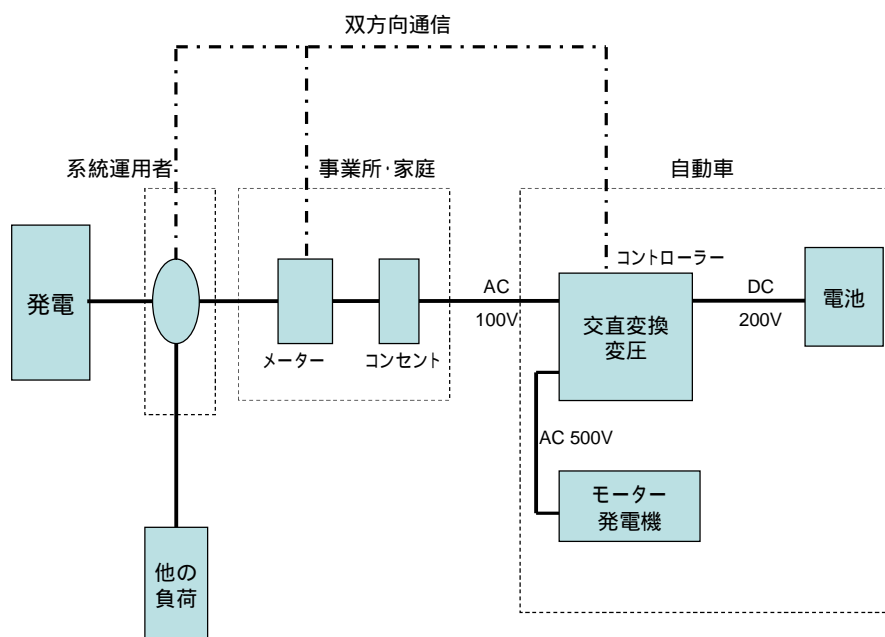
プラグインハイブリッド自動車(PHEV)を核とし、地域内で利用可能なエネルギー資源の積極的な活用を想定しつつ、地域エネルギーシステムについて構想し、その環境・エネルギー・経済効果を検討する。(前回の資料より)

### Phase 1 (2007.7~2008.7)の活動予定

プラグインハイブリッド自動車(PHEV)の導入による効果を検討する。特に、PHEV 車に搭載されているバッテリーの効果的な活用について V2G 制御や地域内での社会システム実証を視野に入れた検討を行う。(前回の資料より)

### PHEV 利用の自動車・電力系統連系エネルギーシステムのイメージ

(前回の資料より)



調査検討案： PHEV に関わる下記項目について、分担して調査を行い、分科会で検討する。

1. 電池・コントローラなどの車載電気機器（通信、制御、データロギング機能などを含む）
2. 充電・料金決済などのシステム（通信、制御、系統連系機能などを含む）
3. 新エネルギーなどとの協調・連携（風力、太陽、バイオ、天然ガス、など）
4. 省エネ・CO<sub>2</sub>削減のライフスタイル・社会環境システム

自動車と系統との連系は、例えば、次のように目的、段階を分けるなどして検討をする。

- ◆ G2V(Grid-to-Vehicle) 系統から車への充電(課金、決済、通信、制御などを含む)
- ◆ V2H(Vehicle-to-Home) 家庭のエネルギー・マネージメントなどとの連系
- ◆ V2M(Vehicle-to-Micro Grid) 事業所・地域など小規模系統との連系
- ◆ V2W(Vehicle-to-Wind Power) 風力発電系統との連系
- ◆ V2G(Vehicle-to-Grid) 系統との本格連系

実証計画案： Phase 1(2007.7～2008.7)は下記の検討をする。

「PHEV を使用した走行・充電・料金決済などに関わる利用・運転・車両など各種経験・データの取得(データロギング)、解析・評価などの実証計画」

以上